



環境経営レポート

～無限の可能性を秘めた子供達の為に
今私たちが出来る事～

2020年度

運用期間 (19年10月～20年09月)

発行日 2021.2.5



目次

1. 会社概要・沿革
2. 環境管理組織
3. 環境経営方針 基本理念
- 4-1. 環境目標（本社・東京工場）
- 4-2. 環境目標（秋田工場）
- 4-3. 環境目標（山形工場）
- 4-4. 環境目標（山形第二工場）
5. 主要な環境活動計画（本社・東京工場 秋田工場 山形工場 山形第二）
- 6-1. 環境目標とその実績（本社・東京工場）
- 6-2. 環境目標とその実績（秋田工場）
- 6-3. 環境目標とその実績（山形工場）
- 6-4. 環境目標とその実績（山形第二工場）
- 7-1. 環境活動の取り組み結果と評価（本社・東京工場）
- 7-2. 環境活動の取り組み結果と評価（秋田工場）
- 7-3. 環境活動の取り組み結果と評価（山形工場）
- 7-4. 環境活動の取り組み結果と評価（山形第二工場）
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 9-1. 代表者による全体評価と見直し結果（本社・東京工場）
- 9-2. 代表者による全体評価と見直し結果（秋田工場）
- 9-3. 代表者による全体評価と見直し結果（山形工場）
- 9-4. 代表者による全体評価と見直し結果（山形第二工場）



1.会社概要

(1) 事業所名

陸特殊金属工業株式会社
本社事業部・焼結事業部東京工場
焼結事業部秋田工場

(2) 本社所在地

東京都町田市鶴間6-1-20

(3) 代表者名

代表取締役社長 池田修二

(4) 事業内容

焼結機械部品・含油軸受等の製造

(5) 事業の規模

年間売上：9億4000万円(全社：25億7444万円)
従業員数：101名(全社：251名樹脂事業部含む)

(6) 環境管理責任者

連絡先 TEL:042-795-0031

FAX:042-796-1827

メールアドレス：

y-yamane@mutsumi-t.co.jp

(7) 認証登録範囲

本社事業部・焼結事業部東京工場
焼結事業部秋田工場

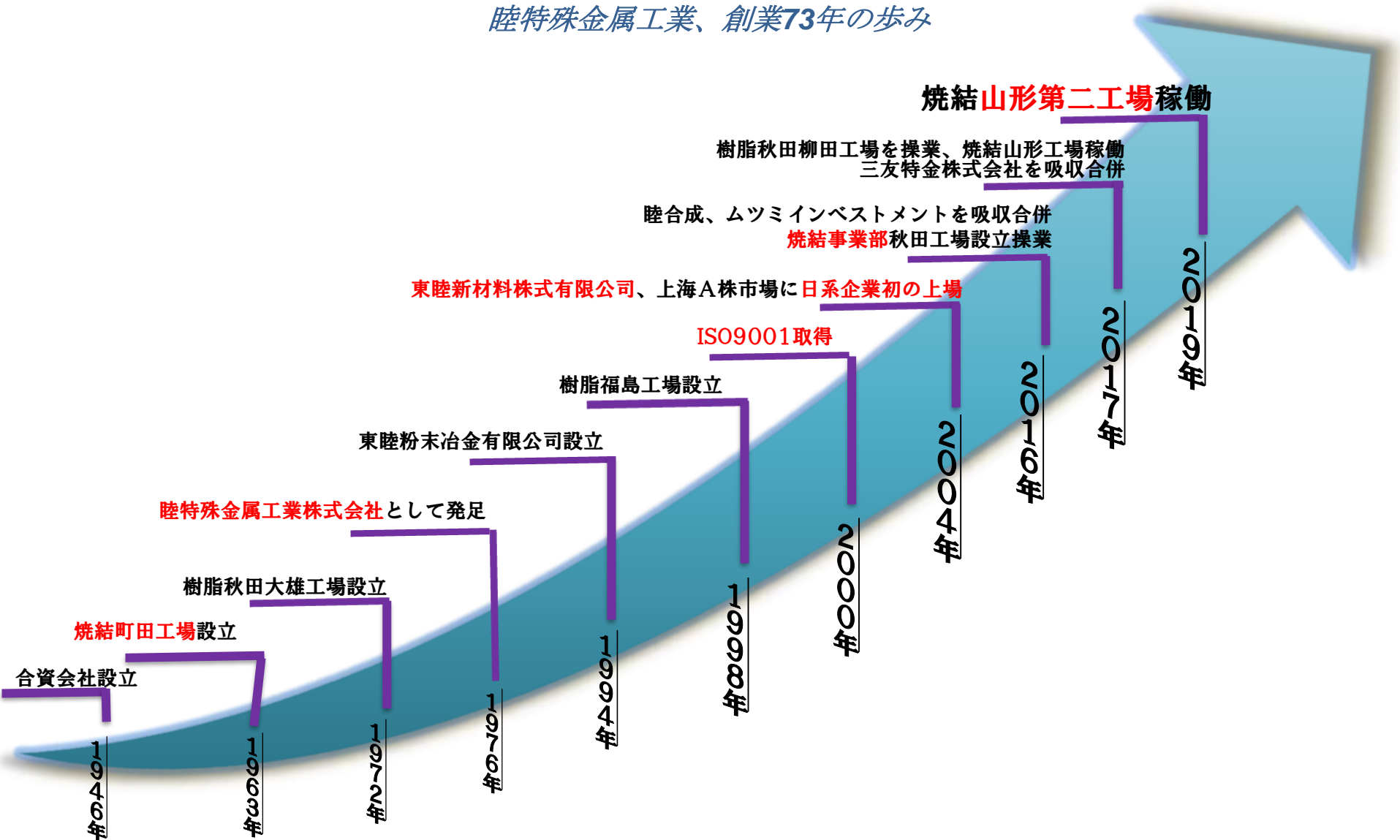
(8) 対象外

焼結事業部山形工場:2021年に
EA21の認証対象とする予定
樹脂事業部各工場:他のEMSの
認証取得済み



沿革

睦特殊金属工業、創業73年の歩み





2.環境管理組織

2020年12月現在
 本社・東京工場 37名
 秋田工場 27名
 山形工場 13名
 山形第二工場 22名

経営層	
代表取締役社長 池田行廣	
・環境方針の決定と環境マネジメント	
・システムの見直し	

環境管理責任者	
山根裕也	
・環境保全活動の推進	・計画の実績管理
・環境改善計画立案	・環境データの集計
・環境保全活動のしくみ作り	・環境MS会議の主催
・計画に伴う各部署への指示	・経営層への進捗報告

環境マネジメントシステム EMS					
担当責任者					
	東京工場	秋田工場	山形工場	山形第二	
電気使用量削減	羽田鋭治	柿崎信人	菊地勝毅	菊地勝毅	
廃棄物排出量削減	白藤和彦	渡邊誠	渋谷孝	高木鋭一	
水使用量削減	森田健	今野寿人	高橋徹	高木鋭一	
グリーン購入	服田真紀子	山根裕也	遠田文	遠田文	
化石燃料削減	白藤和彦	山根裕也	菊地勝毅	菊地勝毅	

化学物質管理システム GMS					
担当責任者					
	東京工場	秋田工場	山形工場	山形第二	
責任者	羽田鋭治	富安健太	加藤俊也	加藤俊也	
副責任者	藤田あゆみ	柴田侑斗	佐藤隆宏	佐藤隆宏	

環境保全担当者									
	東京工場		秋田工場		山形工場		山形第二工場		
工場長	羽田鋭治	工場長	山根裕也	工場長	菊地勝毅	工場長	菊地勝毅	・環境保全活動の実施 ・問題点の把握と解決 ・社員教育 ・環境MS会議に出席	
製造課主任	森田健	品質課課長	富安健太	製造課主任	高橋徹	品質課主任	加藤俊也		
本社総務経理	白藤和彦	製造課課長	渡邊誠	製造課主任	渋谷孝	製造課主任	高木鋭一		
本社総務経理	服田真紀子	製造課主任	柿崎信人						
品質保証課	藤田あゆみ	技術課主任	齋藤龍太郎						
		製造課	今野寿人						



基本理念

3.環境経営方針

行動指針

私たちは、粉末冶金製品の生産を中心にした事業活動において、環境に配慮した生産活動を推進する事により、社会に貢献する事を目指します。そして、環境保全への取り組みを経営の重要な柱の一つとして捉え、社会の調和ある発展に貢献出来るように、不断の努力を行います。

1. 環境及び有害化学物質に関わるあらゆる法則制、ユーザー及びその他の要求事項を遵守する。
2. 事業活動の全ての分野で、省エネルギー・省資源及び廃棄物発生量の低減に努め、且つそれらのリサイクル化を推進する。
3. 事業活動において、製品（購入品含む）・原材料及び副資材の有害化学物質を的確に把握し、それらの保管・使用・廃棄等を適切に行い、且つそれらの使用量の削減、安全性の高い物質への切替えに努める。
4. 事業活動において、環境汚染の予防に努める。
5. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的及び環境目標を設定し、継続的な改善に努める。
6. 環境教育を通じて、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行う。

改定日：2019年10月1日
制定日：2012年10月1日

池田 修二

4-1 2020年度環境目標（本社・東京工場）

 生産電気使用量削減 2%削減 (2017年基準比) 9.8kWh以下/kg 《CO2排出量》	 電気使用量削減 2%削減 (2017年基準比) 787,920kWh以下/年 《CO2排出量》 393,960kg-CO2以下	 廃棄物排出量削減 1%削減 (2019年基準比) 11.23ton以下 2019年基準値：11.35t	 水使用量削減 3%削減 (2017年基準比) 523m ³ 以下 2017年基準値：540m ³
--	--	---	--

環境目標(中期目標)

	生産電気削減	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2020年度	2%削減	2%削減	1%削減	3%削減
2021年度	3%削減	3%削減	2%削減	4%削減
2022年度	4%削減	4%削減	3%削減	5%削減



4-2 2020年度環境目標（秋田工場）



環境目標(中期目標)

	生産電気削減	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2020年度	4%削減	4%削減	1%削減	2%削減
2020年度	5%削減	5%削減	2%削減	3%削減
2021年度	6%削減	6%削減	3%削減	4%削減

4-3 2020年度環境目標（山形工場）



電気使用量削減

1%削減

(2019年基準比)

369,977kWh以下/年

《CO2排出量》

205,706kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

1%削減

(2019年基準比)

11.23ton以下

2019年基準値：11.35t



水使用量削減

1%削減

(2017年基準比)

523m³以下

2017年基準値：540m³

環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2020年度	1%削減	1%削減	1%削減
2021年度	2%削減	2%削減	2%削減
2022年度	3%削減	3%削減	3%削減

4-4 2020年度環境目標（山形第二工場）



電気使用量削減

1%削減

(2019年基準比)

697,084kWh以下/年

《CO2排出量》

383,703kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

1%削減

(2019年基準比)

9.9ton以下

2019年基準値：10.0t



水使用量削減

1%削減

(2019年基準比)

792m³以下

2019年基準値：800m³

環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2020年度	1%削減	1%削減	1%削減
2021年度	2%削減	2%削減	2%削減
2022年度	3%削減	3%削減	3%削減

5. 主な環境活動計画

2019年10月～2020年9月末

生産電気使用量

本社・東京工場責任者 羽田鋭治
 秋田工場責任者 柿崎信人
 山形工場責任者 菊地勝毅
 山形第二工場責任者 菊地勝毅

- ・ ①生産設備の効率稼働(生産向上)
- ・ ②省エネ機械・設備の導入及び省エネ方策
- ・ ③照明、空調設備の省エネ方策
- ・ ④不要時の消灯運動(就業時、休憩、就業後の消灯徹底)
- ・ ⑤空調温度の適正管理(暑すぎ、寒すぎ温度排除)
- ・ ⑥業務改善(効率化)による残業時間の減少

・ 監視測定 月／1回

廃棄物排出量

本社・東京工場責任者 白藤和彦
 秋田工場責任者 渡邊誠
 山形工場責任者 渋谷孝
 山形第二工場責任者 高木鋭一

- ・ ①分別回収の細分化⇒リサイクル切替
- ・ ②廃棄鉄粉の削除⇒こぼれ粉など
- ・ ③ダンボール箱⇒
- ・ キャディ、マテハンの利用、包装資材の再利用
- ・ ④紙の使用量削減
- ・ (電子文書化、使用済コピー紙の裏面使用など)
- ・ ⑤エコ商品の購入(事務用品)

・ 監視測定 1Q／1回

水使用量

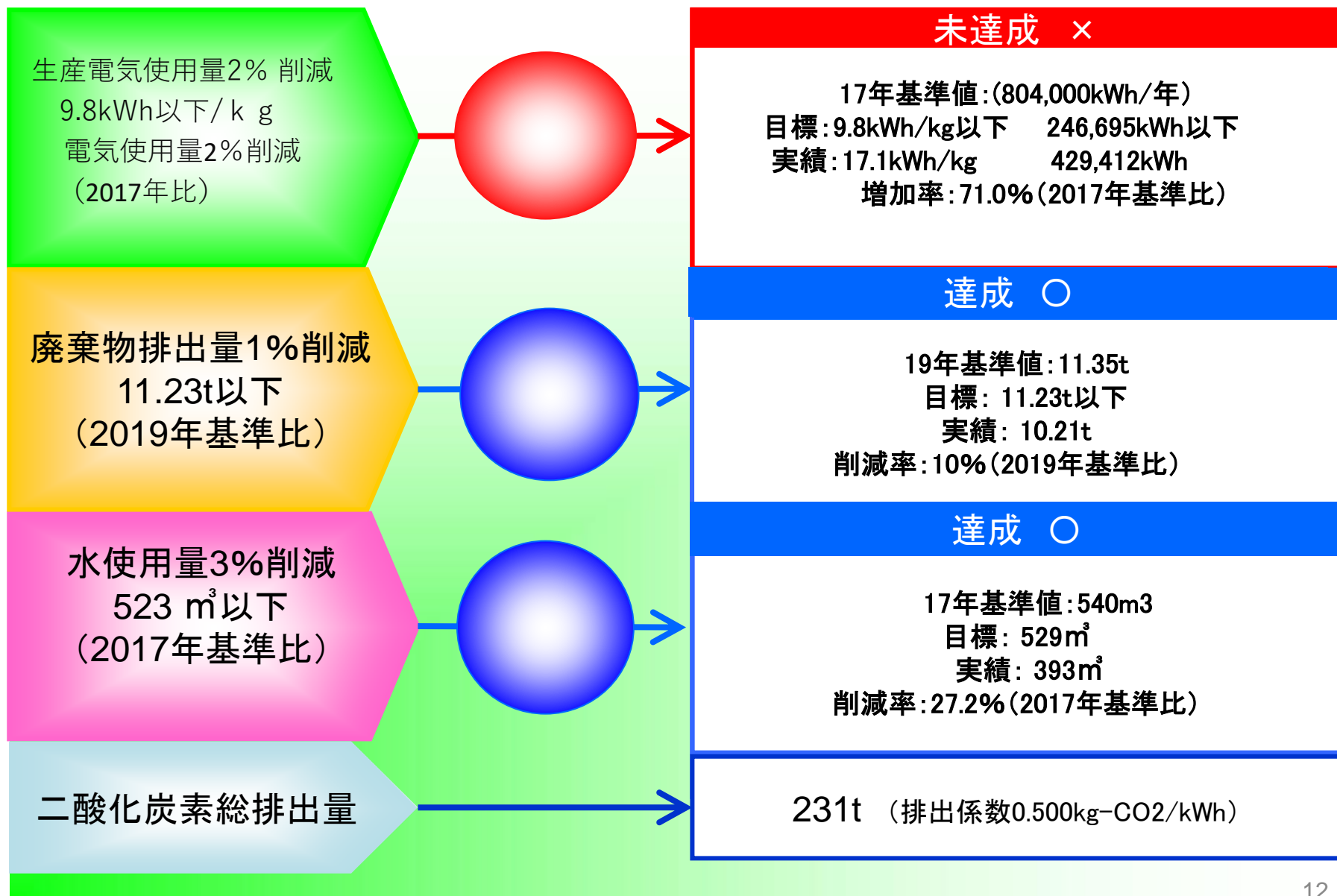
本社・東京工場責任者 森田健
 秋田工場責任者 今野寿人
 山形工場責任者 高橋徹
 山形第二工場責任者 高木鋭一

- ・ ①節水の表示、水の出っぱなしの禁止
- ・ ②水の水量調整
- ・ ③定期的に指針チェック⇒水の使用量の把握(毎日)/漏水確認
- ・ ④節水の呼びかけ

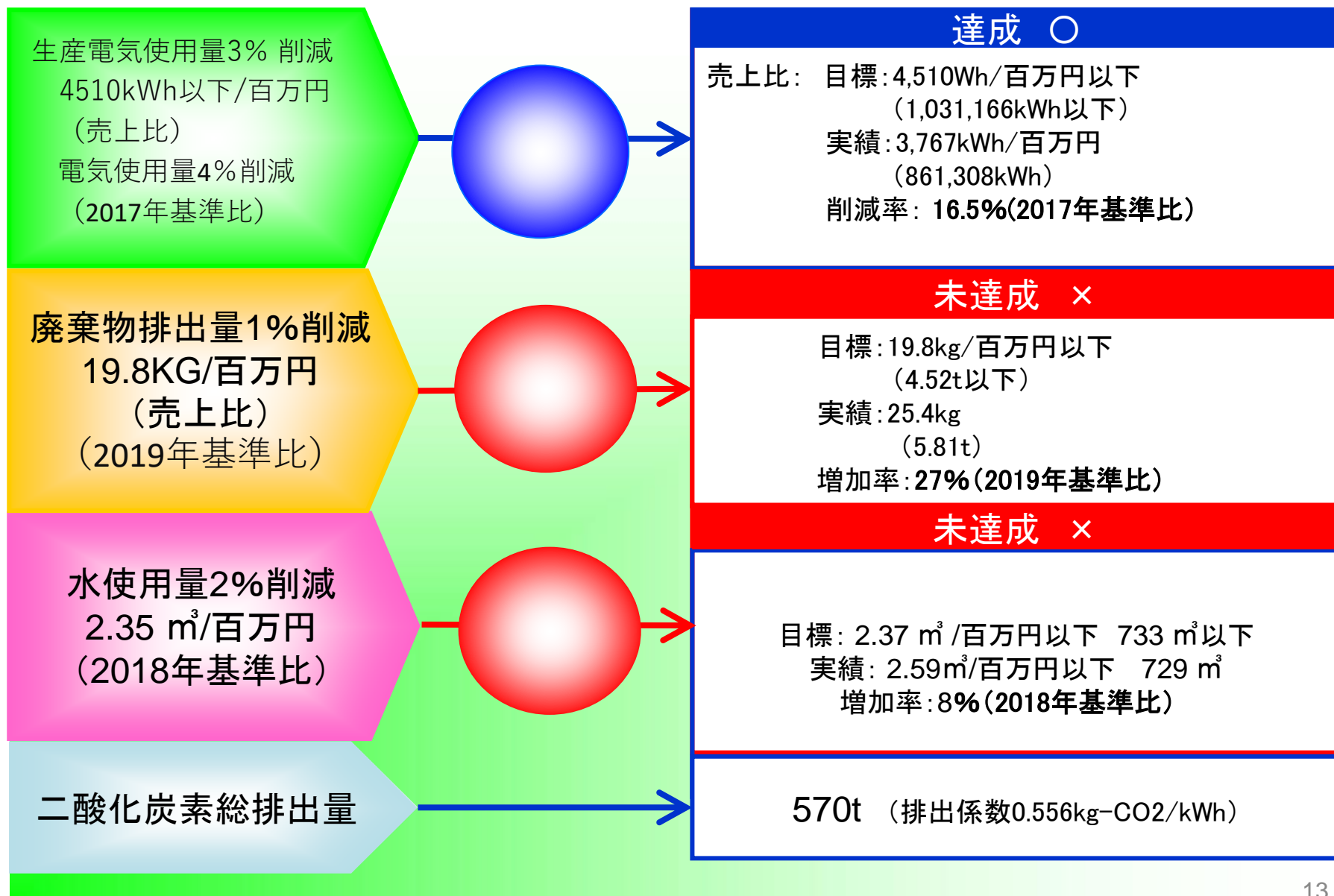
・ 監視測定 毎月／1回



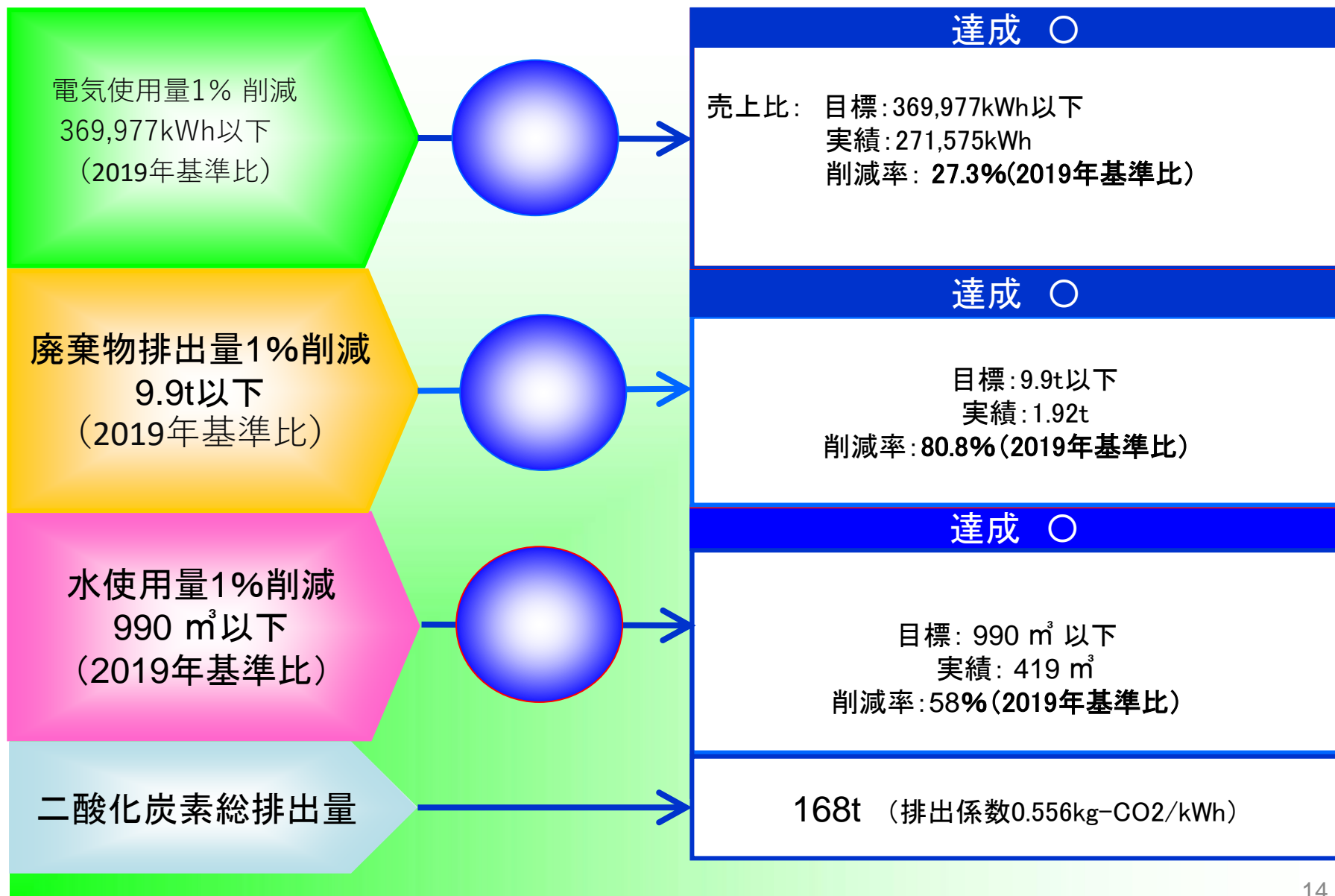
6-1.環境目標とその実績(本社・東京工場)



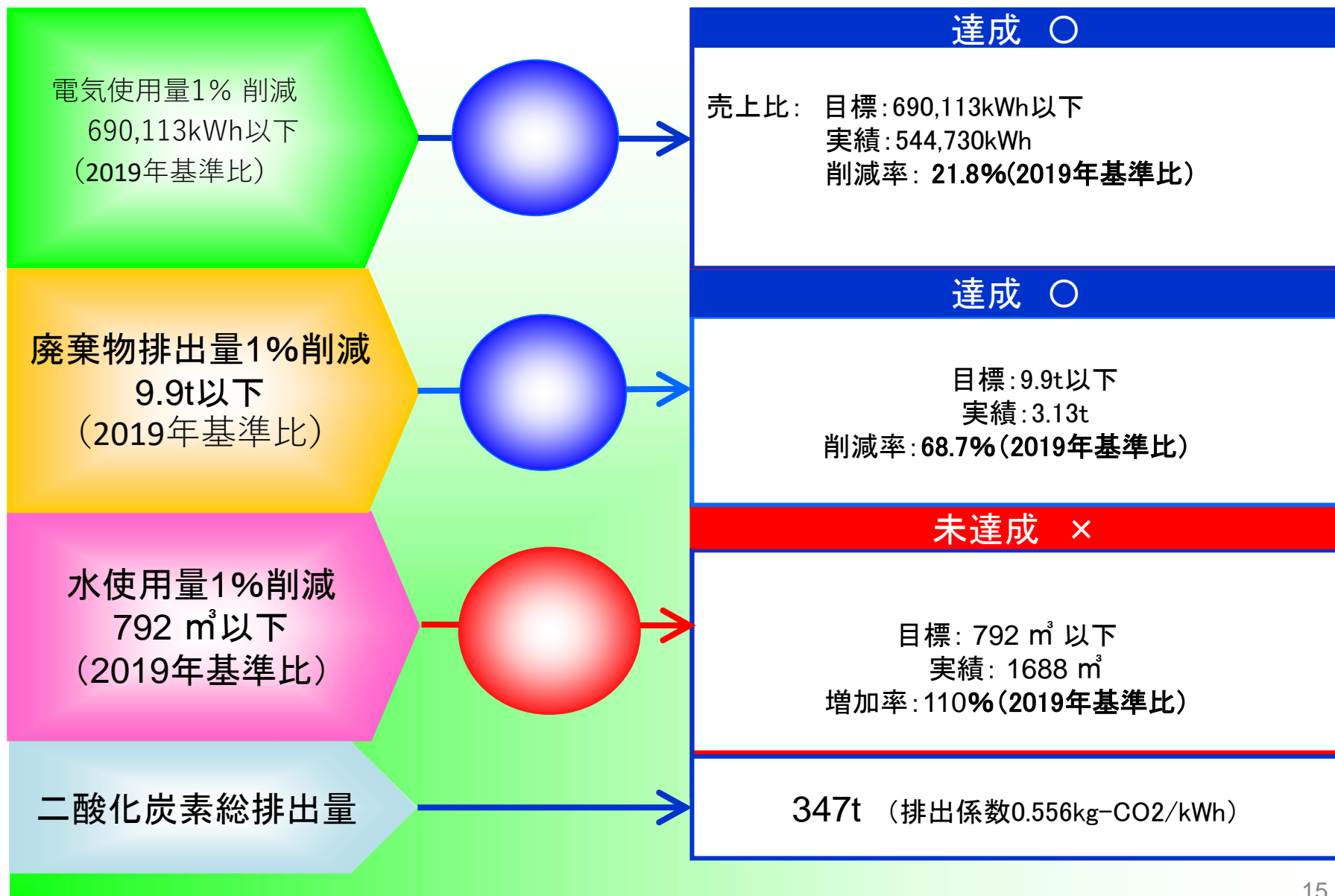
6-2.環境目標とその実績(秋田工場)



6-3.環境目標とその実績(山形工場)



6-4.環境目標とその実績(山形第二工場)



7-1.環境活動の取り組み結果と評価(本社・東京工場)

評価基準:◎:120%以上達成率
○:概ね100%以上達成率
△:75%~100%未満の達成率
×:75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
生産電気使用量2%削減 9.8kWh以下/k g 電気使用量2%削減 (2017年比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価:× 山形第二工場への製品移管を行っているが完全に移管は出来ていない為に生産効率が悪くなってしまった。	・生産移管の行い業態変化を中心に行う。
廃棄物排出量1%削減 11.23t以下 (2019年比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価:○ 目標見直しにて目標達成。 購入品の再利用化は進みましたが、輸入量増加による木パレ(木くず)などの増加に対する対応未	・購入品資材の再利用化 ・エコ商品の購入 ・木パレの転用 (山形第二工場にて利用へ)
水使用量2%削減 523 m ³ 以下 (2017年比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価:◎ 定期的な監視を行いその効果あり。	・継続的な監視(節水・漏水)
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価:○ グリーン購入調査範囲を拡大する必要あり。	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価:○ 利用頻度の低いハイエースを廃止し社用車の台数を制限し対応。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視

7-2.環境活動の取り組み結果と評価(秋田工場)

評価基準: ◎:120%以上達成率

○:概ね100%以上達成率

△:75%~100%未満の達成率

×:75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
生産電気使用量3%削減 4510kWh以下/売上百万円 電気使用量3%削減 (2017年比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価:○ 2020年度も、目標達成できたものの コロナの影響もあり売上低下・ 生産効率低下により前年度より 削減率が低くなった。	・生産効率化による電気使用量の削減 ・デマンド監視装置にて ピーク電力の制御
廃棄物排出量1%削減 19.8KG/売上百万円以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価:× 雨水分離槽の汚泥の排出量が 割合の大半34%(2,000kg)となり目標 未達成となった。 売上低下も要因となった。	・売上向上による汚泥割合の軽減
水使用量2%削減 2.35m ³ /売上百万円 (2019年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価:△ 節水への呼びかけ等は進めている が、具体的な節水改善対策が行わ れていない。	・節水改善案 ・漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価:○ グリーン購入の調査もあり結果ok	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価:△ エコドライブの教育を行ったが、 実施状況の監視等ができていない。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視

7-3.環境活動の取り組み結果と評価(山形工場)

評価基準: ◎:120%以上達成率

○:概ね100%以上達成率

△:75%~100%未満の達成率

×:75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量1%削減 369,977kWh以下 (2019年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価:◎ コロナの影響もあり、生産活動自体が低く目標達成。	・生産効率化による電気使用量の削減
廃棄物排出量1%削減 9.9t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価:◎ 2019年度実績から目標設定したが、2020年度は、分別回収の効果もあり大幅削減となった。 ※2019年実績は5S促進の影響あり。	・分別回収の徹底 ・紙使用量削減
水使用量1%削減 990 m ³ 以下 (2019年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価:◎ 活動項目に関する実施良好。 漏水等の監視を定期的に行い使用量増加を防止する。	・節水改善案 ・漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価:◎ グリーン購入の調査もあり結果ok	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価:△ エコドライブの教育を行ったが、実施状況の監視等ができていない。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視

7-4.環境活動の取り組み結果と評価(山形第二工場)

評価基準:◎:120%以上達成率
 ○:概ね100%以上達成率
 △:75%~100%未満の達成率
 ×:75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量1%削減 690,113kWh以下 (2019年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価:◎ コロナの影響もあり、生産活動自体が低く目標達成。	・生産効率化による電気使用量の削減
廃棄物排出量1%削減 9.9t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価:◎ 2019年度実績から目標設定したが、2020年度は、分別回収の効果もあり大幅削減となった。 ※2019年実績は5S促進の影響あり。	・分別回収の徹底 ・紙使用量削減
水使用量1%削減 792 m ³ (2019年比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価:× 漏水多発による目標未達。 漏水等の監視を定期的に行い使用量増加を防止する。	・節水改善案 ・漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価:◎ グリーン購入の調査もあり結果ok	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価:△ エコドライブの教育を行ったが、実施状況の監視等ができていない。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視



8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(本社・東京工場・秋田工場・山形工場・山形第二工場)

当社における過去5年間の法規違反又は
起訴などは一切ございませんでした。

9-1 代表者による全体の評価と見直しの記録(本社・東京工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2020年12月14日13時~13時30分

出席者:池田、羽田、森田、白藤、(PC:山根)

記録:山根裕也 作成日12月22日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示						
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社員の意識向上による提案改善提案表彰 ・省エネ設備導入の推進 ・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理) 	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>						
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>省エネルギー</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>水使用削減</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の削減</td> <td>○</td> </tr> </table>	省エネルギー	×	水使用削減	○	廃棄物の削減	○	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>電気量削減は、山形への製品移管による集中化</p> <p>水使用量は、継続的な改善・監視</p> <p>廃棄物削減は、輸入品の包装資材の再利用化と廃棄物削減は、荷姿等の工夫による資材削減も検討すること。</p>
省エネルギー	×							
水使用削減	○							
廃棄物の削減	○							
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。 						

社長の総合コメント:

昨年度同様に本社・東京工場は、山形第二工場への製品移管を推進してください。
また、昨年度は、コロナの影響にて辞退した山形工場・第二工場 EA21取得の活動を東京工場も協力してください。

9-2 代表者による全体の評価と見直しの記録(秋田工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2020年12月14日13時45分~14時30分

出席者:山根・柿崎・今野 (PC:池田)

記録:山根裕也 作成日12月22日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示						
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社員の意識向上による提案改善提案表彰 ・省エネ設備導入の推進 ・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理) 	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>						
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>省エネルギー</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水使用削減</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の削減</td> <td>×</td> </tr> </table>	省エネルギー	○	水使用削減	×	廃棄物の削減	×	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>廃棄物排出量削減のための改善案や情報をEA21などを通し勉強し改善効果を上げてください。</p>
省エネルギー	○							
水使用削減	×							
廃棄物の削減	×							
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。 						

社長の総合コメント:

秋田工場は、焼結事業部のメイン量産工場の位置付けとなります。
 業務効率化(ムリムダムラ)の排除を行い、業務効率化から環境目標達成に努めてください。
 山形第一工場・第二工場のEA21の取得サポート及び目標達成へのための業務効率化の導入をお願いします。

9-3 代表者による全体の評価と見直しの記録(山形工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2020年12月14日14時30分～15時00分 出席者:菊地、高橋、渋谷、(PC:池田・山根) 記録:山根裕也 作成日12月22日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社員の意識向上による提案改善提案表彰 ・省エネ設備導入の推進 ・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理) 	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ○ 水使用削減 ○ 廃棄物の削減 ○</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>すべて目標達成。 コロナの影響・目標設定の妥当性もあるため、次年度の結果も踏まえ総合的に評価が必要。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。

社長の総合コメント:

環境経営方針の【基本理念】をよく理解し、その活動を継続的かつ効果を出すためにEA21の取得を目指してください。

9-4 代表者による全体の評価と見直しの記録(山形第二工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2020年12月14日15時15分～15時45分 出席者:菊地、高橋、渋谷、(PC:池田・山根) 記録:山根裕也 作成日12月22日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社員の意識向上による提案改善提案表彰 ・省エネ設備導入の推進 ・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理) 	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ○ 水使用削減 × 廃棄物の削減 ○</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>漏水再発防止を監視してください。 目標達成の評価に関しては、コロナの影響・目標設定の妥当性もあるため、次年度の結果も踏まえ総合的に評価が必要。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。

社長の総合コメント:
環境経営方針の【基本理念】をよく理解し、その活動を継続的かつ効果を出すためにEA21の取得を目指してください。